

仙台市議会議員 岡部 恒司

# 仙台市議会活動レポート

令和元年第3回定例会報告

■発行人 岡部恒司  
■ご意見ご要望は...〒981-1093 仙台市青葉区柏木2-14-16-501  
電話 022-271-1770 <http://okabekeji-sentai.jinsho.jp>

写真：大崎八幡宮

仙台市議会令和元年第3回定例会は、9月19日から10月23日までの会期で開会されました。

今定例会では、道路照明灯問題を受けて「決算・一般会計補正予算等審査特別委員会」を設置し、関連する決算や補正予算案、市長等の給与を減額する条例案、東北電力との和解案などの議案を審議しました。その結果、一般会計・特別会計決算を認定せず、和解案には附帯決議を付けることに決しました。

そのほか、地球温暖化対策、音楽ホールや市中心部震災メモリアル施設整備、いじめの再発防止、県の「みやぎ型管理運営方式」、台風19号への対応など、市政の幅広い分野で議論を展開しました。

今回のレポートは「自由民主党」の代表質疑と答弁の要点、他会派代表質疑の質疑項目（抜粋）を記載させていただきました。

是非一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

## 自由民主党 代表質疑抜粋

### 平成30年度施策の成果と課題について

質問 郡市長が自身の権限と責任において最初に編成したのが平成30年度予算であり、平成30年度市政方針だ。

1 番目の柱が「人を育み、人がつながるまちづくり」、2 番目の柱が「まちを育む、活力デザイン」、3 番目の柱に「次代へつなぐ、防災環境都市」、最後の柱が「市役所改革の推進」だったが、どのような成果を上げたのか、また、課題として残ったものは何か伺う。

答え 厳しい財政状況の中、喫緊の課題である教育環境の整備や、い

じめ対策、そしてまた切れ目のない子育て支援などに力を注ぐとともに、都市経営の基盤となる経済の活性化や、復興事業の推進を含む防災環境都市づくりなど、将来のまちづくりに向けた一定の道筋、これをつけることができているのではないかと考えている。

しかしながら、復興の次のステージに向けたまちづくりにおいては、持続的な活力創出に向けた取り組みが重要であって、都市の活力の源泉となる都市の再構築、また、地域企業の活性化などの産業政策、子育て世代に選ばれる街の実現、これを目指していく考えだ。

### 台風襲来時の対応について

質問 本市では台風襲来時の対応についてシミュレーションはできているのか。また、台風15号に対する今回の対応から、反面教師も含めて

学ぶべき点があると思いが所見を伺う。

答え 平成27年に台風17号の影響により発生した関東・東北豪雨をはじめ、毎年のように全国各地で発生している大規模災害を踏まえ、その都度地域防災計画に反映したきたところで、一定の対応ができているものと考えている。

一方で行政機関等の初動対応の遅れや情報伝達の不備など課題が様々報道されている。本市としても国等による今後の検証内容も注視しながら、地域防災計画の修正等、必要な対応を行っていく。





道路照明灯問題について

質問 東北電力に対する過払い額は約9200万円、未払い額は約2300万円だ。「原因の徹底究明、再発防止策の取りまとめとその実行、責任の所在の明確化を求める附帯決議を全会一致で可決した。

ようやく責任のあり方を示されたが、議案の説明を聞けば聞くほど疑問は増すばかりだ。

半年近く東北電力と協議してきたと思うが、誰と誰がどのような協議を行い、どのような考えに基づき今回の和

既存の照明灯が撤去され、電力契約のみが存在している電柱

道路改良時に新設された道路照明灯



解決に至ったのか。また、東北電力が負担する4600万円について、本市が寄付金として受け入れることから全額損金となるものと想定され、東北電力にとっては大変都合の良い案になっているのではないかと、如何か。

答え 高橋副市長が中心となつて東北電力の執行役員と協議を行ってきた。

当初、東北電力からは、未払い金については全額を本市に請求することが基本であつて、また、過払金については約款上返還に依ることができないと示された。

一方、本市としては電気料金は市民の皆様税金でまかなわれていることや、議会での議論を踏まえ、東北電力に対して過払金の返還を求め、また未払い分については民法上の時効の考え方も示しながら鋭意協議を重ねた結果、本市の立場について

て一定の理解をいただいた上で、過払いについては協力金という形で寄付をいただくこととなり、未払いについては過去10年分の電気料金を本市が支払うことに至つた。こうした経緯を踏まえ今回の負担割合での和解案としたものだ。

質問 市長と副市長の減給額の合計はたつたの139.8万円であり、職員に協力を求めるとする1720万円と合わせても1859.8万円であり、過払い額9200万円に対する補填率は20%に過ぎない。

25年にもわたる積弊だ。このようなことで組織として責任を果たせるとお考えなのか。

また、職員による補填額を1720万円とする合理性を見いだすことはできない。百歩譲つても3440万円とすべきではないか、如何か。

答え 今回の過払いは、20年以上にわたる長期

間、組織全体として気づくことができず、改善がなされないまま事務が継続されてきた結果生じたものだ。今回の過払い総額から東北電力に負担いただく分を控除した額は3440万円であり、これが実質的に負担することになる額であると認識している。過去の最高裁の判例等を踏まえて、部長級以上の職員を中心に協力を呼びかけ、50%の1720万円を補填することとした。

質問 職員による補填のスキームが示されていない。本来、関連議案を議会に提案するにあつて、具体的な内容について示すべきだが、如何か。

答え 補填にあたっては、職員互助会から一時的に資金を借り受け、本年度中に1720万円を一括して補填していきたいと考えている。加えて、局長親睦会の会員に年間2万円、次部

長親睦会の会員で年間1万円を追加で徴収し、おおむね5年程度をかけて返済にあてていく考えだ。

質問 今回実施した全庁調査でも、道路照明灯以外の電力契約に関わる調査結果が示され、過払い未払い事案が発見された。不安を感じるのは氷山の一角ではないということだ。道路照明灯に限らず、公金支出を伴う契約の確認作業において全庁上げて総点検する必要があると考えるが、如何か。

答え 電力契約については、契約・支出事務の流れの中で組織的な確認の仕組みを取り入れるよう再発防止策を講じたところだ。電気料金以外の公金の支出が伴う契約についても、契約から支出に至る一連の事務の中で過払いや未払いが発生するところがないか関係部署と協力し精査していくこととした。







**質問** 市税収入が堅調に伸びているとはいえず、歳出においては少子高齢化の影響等を受けて生活保護費等を含む扶助費が確実に増加してきており、今後も安定した財政運営が可能なか危機感を持つところだが、当局としては財政状況をどのように分析しているのか伺う。

**答え** 税源移譲の影響を除いた市税収入の増加があったものの、一般財源は頭打ちであるという状況に対して、生活保護費や障害者福祉などの扶助費を含む義務的経費が増加するといった構造は継続している。加えて少子高齢化・人口減少社会の進展等により、市税収入の大幅な伸びが見込めないことを踏まえると、今後の財政運営はさらに厳しさを増すものと認識している。

**質問** 市税収入が堅調に伸びているとはいえず、歳出においては少子高齢化の影響等を受けて生活保護費等を含む扶助費が確実に増加してきており、今後も安定した財政運営が可能なか危機感を持つところだが、当局としては財政状況をどのように分析しているのか伺う。

**答え** 税源移譲の影響を除いた市税収入の増加があったものの、一般財源は頭打ちであるという状況に対して、生活保護費や障害者福祉などの扶助費を含む義務的経費が増加するといった構造は継続している。加えて少子高齢化・人口減少社会の進展等により、市税収入の大幅な伸びが見込めないことを踏まえると、今後の財政運営はさらに厳しさを増すものと認識している。

**高齢者の雇用促進**  
**質問** 高齢者の雇用促進

**質問** 市税収入が堅調に伸びているとはいえず、歳出においては少子高齢化の影響等を受けて生活保護費等を含む扶助費が確実に増加してきており、今後も安定した財政運営が可能なか危機感を持つところだが、当局としては財政状況をどのように分析しているのか伺う。

**質問** 仙台市は、厚労省の「生涯現役促進地域連携事業」に採択されたと聞いている。現在の取り組み状況はどうか。また意欲ある高齢者の労働参加の加速に向け、長期的な就労を視野に高齢者に特化した職業紹介を行う「シルバーハローワーク」のような仕組みを検討しているか。

**答え** 本市が仙台商工会議所等と設立した協議会において、6月に相談窓口を開設し、8月末時点で延べ163件の相談を受け、11人の就業が決定した。以降、高齢者の就業意向や事業者の雇用ニーズに関する実態調査、高齢者と事業者とのマッチングを支援する合同説明会の開催などを予定しているところだ。

**質問** 民間の優れた知識技術を行政に導入する担当窓口はあるのか。これからの時代、まちづくりを行政だけでやるのではなく、市民や企業、団体など民間に参加していただき一緒に作り上げていくことが求められるが如何か。

**答え** 今後、財源が厳しさを増す一方で、AIやIoTを始めとした技術の飛躍的な進歩が見込まれることから、複雑化、多様化する市政上の課題への対応に

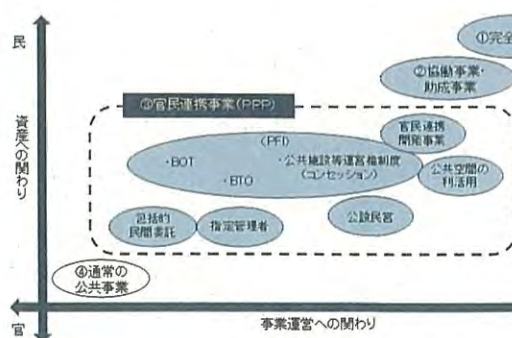
**質問** 民間の優れた知識技術を行政に導入する担当窓口はあるのか。これからの時代、まちづくりを行政だけでやるのではなく、市民や企業、団体など民間に参加していただき一緒に作り上げていくことが求められるが如何か。

**答え** 今後、財源が厳しさを増す一方で、AIやIoTを始めとした技術の飛躍的な進歩が見込まれることから、複雑化、多様化する市政上の課題への対応に

**メモリアル拠点と防災教育機能**  
**質問** 市民の方々を対象とする「災害訓練センター」というものが本市にはない。それがな

くてどうして「防災環境都市」と言えるのか。「メモリアル施設」ではなく、メモリアルの機能も備えた防災教育センターこそ必要であると思うが如何か。

**答え** 現在進めている中心部震災メモリアル拠点検討委員会において、拠点に求める機能として未曾有の震災における記憶や経験の継承はもとより、震災から多くのことを学び、次の災害への備えに資すること、未来に生かす場





### いじめ対応の手引



いじめ問題が、学校生活に与える影響は、深刻です。いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

「いじめ問題」が多発し、またそれに対する教育委員会の対応をめぐってさまざまな批判もあつた。全国的に見て仙台が「いじめ問題」が多い都市という印象を持たれているのではないかと危惧している。事案に対する教育委員会の対応、体制が問題だ。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

とすることが重要であるという議論が交わされている。防災学習や訓練に関する機能とメモリアル拠点のあり方については今後検討委員会の議論も踏まえながら検討していきたい。

当事者へのヒアリングや資料の整理提出、メディア対応などを学校と一緒に取り組むチームが必要であると考えるところ見を伺う。

短時間に多くの判断が求められる。学校を含めた教育委員会全体が適切な役割分担のもと、緊密な連携体制を構築し、組織として総合的に対応することが肝要であると考えて、職員が持てる力を発揮し行動することができるといふ効果的な対応に努めていく。



多様な性の在り方に関する総合的な施策の推進を。市長のリーダーシップによる地球温暖化対策の推進。街路樹である銀杏の葉と実の有効活用。道路照明灯問題の再発防止策。

### 教育委員会の事案対応について

仙台市はこれまで「いじめ問題」が多発し、またそれに対する教育委員会の対応をめぐってさまざまな批判もあつた。全国的に見て仙台が「いじめ問題」が多い都市という印象を持たれているのではないかと危惧している。事案に対する教育委員会の対応、体制が問題だ。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

### 公明党

#### いじめ再発防止策の徹底

#### 市中心部メモリアル施設の完成目標

#### 民主フォーラム

#### 道路照明灯問題に係る市の組織としての市の過失

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。

いじめの発生は、児童の心身に大きなダメージを与えます。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。いじめの発生を未然に防ぐためには、学校と家庭の連携が重要です。



底により再発防止に努めていく。

「みやぎ型管理運営方式」に係る疑念の払拭

○「みやぎ型管理運営方式」については、導入後のコスト削減効果の根拠が曖昧であり、水道料金の値上げ等の疑念が残る。県の言いなりではなく、市民の立場から積極的に疑念をただしていくべき。

○これまででも県から受水している17市町が合同で不明確な点等の確認を求めてきたが、制度導入後の詳細が不明な部分については、段階的に示す予定との回答であった。今後、受水市町の意見が反映されるよう県に求めていく。

その他の主な質疑項目

○本市発注の事業における、消費税分が適正に価格に転嫁されない契約の発生防止対策

- 人口減少・経済縮小局面における消費増税への具体的な対応
- 中学校でのスクールカウンセラー常時配置と養護教諭2名体制拡充
- 児童相談所への弁護士常時配置
- 女性消防団員の休団制度の創設



社民党

水道事業の民営化を拙速に進めないよう県に求めよ

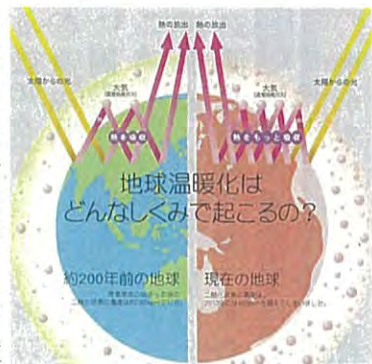
○市民の生存に欠かれない水道事業の運営を民間企業に委ねる「みやぎ型管理運営方式」に対する市民理解は深まっていない。県に対し拙速に進めないよう求めるべきだが、所

見を伺う。  
○「みやぎ型管理運営方式」は国内初の事例であり、さまざまな意見が示されている状況と認識している。今後、県議会での審議も行われるが、県における検討過程の各段階において、市民への早期の情報提供と、県から受水している市町の意見の反映を繰り返し求めていく。

国内外の地球温暖化対策をリードする取り組みを

○世界が地球温暖化に危機感を深めている中、「地球温暖化対策等の推進に関する条例」には、国を上回る目標の設定や国内外の取り組みをリードする計画の策定などが求められる。如何か。

○現行の「地球温暖化対策推進計画」において、国の温室効果ガス排出削減目標に上積みした目標を設定している。令和3年度から



○新たな計画でも、環境審議会の審議を踏まえた検討を進め、引き続き高い目標を掲げるなど、先導的な役割を果たしていきたい。

その他の主な質疑項目

- 消費税が市民に与える影響の認識と本市の対応
- 自主財源を確保するための積極的な取り組み
- 道路照明灯問題の和解除と再発防止策
- 学生向けバス・地下鉄利用促進事業の対象者拡大

日本共産党

保育所等における副食費の免除を

○幼児教育・保育の

無償化に伴い、新たに保護者から副食費4500円が実費徴収されることになる。無償化により、これまで市が保育料の独自軽減策に投じてきた約29億円が不要になることを踏まえ、新たな保護者負担が生じないよう対応せよ。

○副食費等の食料費は、在宅の子育てでも生じる費用であり、現行制度においても保護者負担が原則である。無償化に伴う制度改正では、副食費を実費徴収することとされており、本市としても独自の免除は考えていない。









# 台風19号被害報告（青葉区・宮総含む）

台風19号で被害に会われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。今回の台風は青葉区においても大きな傷あとを残し、仙台市全域でも 6,549 名の方々が避難されました。近年多発する気象災害にどのように備えるのかが問われております。

今回のご報告は青葉区内の災害箇所の一部を掲載しております。ご参考にしていただければと思います。

## 土砂崩れ

- 八幡5 (県道村田線上で土砂崩れによる通行止め)
- 菊田町 (土砂崩れにて道路に影響)
- 荒巻字青葉 (東北大管理用地の法面が崩れ道路に流出)
- 荒巻本沢3 (東側市営バス停向い) (土砂崩れにて通行不能)
- 山手町 (法面が崩れ道路に土砂がはみ出して通行止)
- 北根3 (土砂崩れにより通行不能 30cm)
- 水の森2 (砂利道で碎石が流れ出てしまっている)
- 川内 (仙台城址線) (道路法面が崩れ)
- 鷲ヶ森1 (法面が崩れ)
- 八幡7 (法面が崩壊し道路に土砂が堆積し通行不可)
- 経ヶ峯公園 (南側法面崩落)
- 桜ヶ丘7丁目緑地 (北側法面崩落)
- 三居沢交通公園 (隣接地から土砂崩落)
- 三本松緑地法面崩落
- 郷六字岩下 (定義仙台線) 県道へ土砂流出
- 芋沢字黒森山 (綱木半子線) 倒木・土砂流出
- 葛岡下 (葛岡線) (県道へ土砂流出)
- 国見ヶ丘5丁目 (歩道半分が土砂で埋まる)
- 上愛子字立石 (サイカチ沼線) (道路の一部崩落)
- 芋沢字栗生沢東 (釜前橋付近) (土砂崩れ)
- 柿崎南 (柿崎橋付近) (土砂崩れ)



- 吉成1 (歩道半分程度土砂崩れ)
- 芋沢本郷 (小規模土砂崩れ)
- 芋沢字湯船沢 (道路下側法面土砂崩れ)
- 上愛子字道半 (道路下側法面土砂崩れ)
- 大倉夜盗沢 (道路下側法面土砂崩れ)
- 上愛子字道半 (道路下側法面土砂崩れ)
- 芋沢字辺田 (田んぼ法面が崩落)
- 下愛子字稲荷前 (法面が崩れ、多量の石)
- 芋沢字廻沢 (法面が崩落)
- 愛子中央3丁目 (広瀬川河川沿崩落)
- 郷六字沼田 (ため池の堤体がえぐられる)

## 施設浸水

- 青葉通 旧さくら野前
- 青葉通 ヒューモス5前
- 駅前通 名掛丁入口
- 仙台駅西口 中央地下歩道



キリトリ  
郵便はがき



投函される場合は  
恐れ入りますが、  
63円切手を貼付  
してご投函お願い  
します。

9 8 1 8 7 9 0

仙台市青葉区  
柏木2丁目4-16-501

仙台市議会議員 **岡部 恒司** 行

※是非ご記入ください。

お名前		様
ご住所		

左記のハガキにてご投函ください。  
または、お電話・FAXでも承ります。

仙台市議会議員 **岡部恒司**

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 2-4-16-501  
TEL022-271-1770 FAX022-271-1786

岡部 恒司ホームページ  
<http://okabekoji-sendai.jimusho.jp>

岡部 恒司

検索

